

みずほCustomer Desk Report 2022/05/18 号 (As of 2022/05/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	129.30
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	128.94	1.0440	134.66	1.2330	0.6974
SYD-NY High	129.78	1.0556	136.67	1.2498	0.7040
SYD-NY Low	128.85	1.0429	134.55	1.2321	0.6968
NY 5:00 PM	129.34	1.0550	136.42	1.2495	0.7029
NY DOW	32,654.59	431.17	日本2年債	-0.0600	0.00bp
NASDAQ	11,984.52	321.73	日本10年債	0.2400	0.00bp
S&P	4,088.85	80.84	米国2年債	2.7086	13.67bp
日経平均	26,659.75	112.70	米国5年債	2.9659	14.21bp
TOPIX	1,866.71	3.45	米国10年債	2.9934	10.85bp
シカゴ日経先物	26,845.00	330.00	独10年債	1.0525	11.90bp
ロンドンFT	7,518.35	53.55	英10年債	1.8800	15.20bp
DAX	14,185.94	221.56	豪10年債	3.4230	5.70bp
ハンセン指数	20,602.52	652.31	USDJPY 1M Vol	11.03	▲0.85%
上海総合	3,093.70	19.95	USDJPY 3M Vol	10.64	▲0.51%
NY金	1,818.90	4.90	USDJPY 6M Vol	10.18	▲0.51%
WTI	112.40	▲ 1.80	USDJPY 1M 25RR	-0.50	Yen Call Over
CRB指数	315.40	▲ 0.18	EURJPY 3M Vol	11.29	▲0.68%
ドルインデックス	103.36	▲ 0.83	EURJPY 6M Vol	11.13	▲0.50%

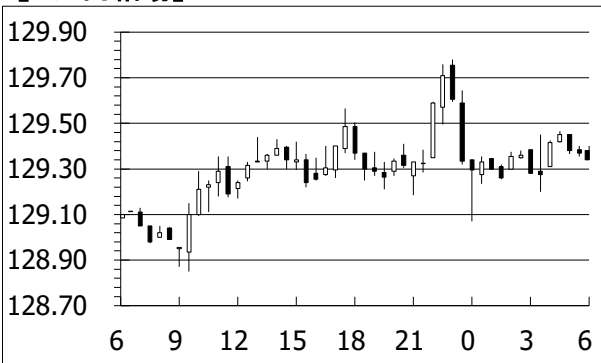
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月17日	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	3月 4.2%	4.1%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q 0.3%/5.1%	0.2%/5%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	4月 0.9%	1.0%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	4月 1.1%	0.5%
5月18日	01:30	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「年末までに少なくとも中立金利に到達」	
	03:00	米 パウエルFRB議長 講演	「インフレが減速しなければより積極的な利上げ必要」	
	03:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	「0.5%利上げが適切」	

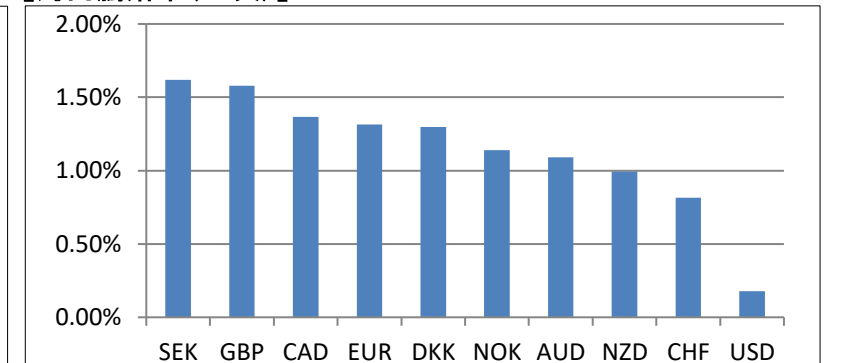
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月18日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	3月 -	-0.5%/-1.7%
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	4月 2.6%/9.1%	1.1%/7%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	4月 0.6%/7.5%	0.6%/7.4%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	4月 1756k/1814k	1793k/1870k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	128.75-130.00	1.0480-1.0620	134.80-138.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間ドル円は、128.94レベルでオープン。仲値にかけては、実需のドル買いや、時間外取引での米金利上昇を受け、値を上げた。その後は4月米国小売売上高の発表を控える中で、狭いレンジで推移。海外時間は、4月小売売上高にて、コアの小売りが予想を上回ったことで、一時は129.78レベルまで値を上げたものの、5月NAHB住宅市場指数が大幅悪化したことで全戻しし、129.34レベルでクローズ。本日のドル円は、堅調推移を予想。前日はパウエルFRB議長による、「必要ならば、更に積極的な行動を検討する必要がある」との発言あり、75bpsの利上げ可能性が残されていることが示唆されたことで、日米金融政策差を意識したドル円上昇が見込まれる。また、4月米住宅着工件数や、フィラデルフィア連銀ハーカー総裁発言を控えており、利上げ織込が更に進むことに警戒したい。

東京	東京時間のドル円は128.94レベルでオープン。朝方に128.85まで弱含むも仲値に向けて買いが見られる展開。その後もじりじりと値を伸ばす展開に129.44まで上昇。終始底堅い推移となり129.24レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、129.24レベルでオープン。中国のロックダウン緩和期待から相場はリスクオンで円安基調。一方で堅調な英雇用統計を受けてポンドやユーロが強含んだことでドルには売り圧力が強く、ドル円は方向感ない推移となった。結局ほぼ変わらずの129.33レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	上海でコロナの市中感染が3日間連続でゼロになったことから海外市場で過度なリスク回避の動きが後退し、ドルが売られる一方円も売られる動きに海外市場のドル円は狭いレンジでの推移が続き、129.33レベルでNYオープン。朝方は、米4月小売売上高が予想を上回り、前回分も上方修正され、ドル円は129.59まで上昇する。続いて発表された4月鉱工業生産が予想を上回り、129.78まで上昇する。しかし米長期金利が2.98%に近づき、その後急落する展開にドル売りが強まり、129.07まで下落する。午後はパウエル議長のインビューで「必要ならば中立レートを超える利上げを躊躇しない」との発言があったことからドル買いに129.45まで上昇する。その後は狭いレンジでの推移が続き、129.34レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが強まったことや、ワット・オランダ中銀総裁の「7月の50bpの利上げの可能性を排除しない」との発言もあり、1.0556まで上昇し、1.0540レベルでNYオープン。朝方は米小売売上高や鉱工業生産結果を受けドル買いが強まる一方、ユーロ円の買いに下値をサポートされ、ユーロドルは値動きを挟まれ、狭いレンジでの推移が続く。午後はパウエル議長の発言を受け一旦ドル買いが優勢となり、1.0522まで下落するが、終盤に掛けては高値圏での推移が続き1.0550レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・大谷